

平成21年度12月補正予算の概要

□一般会計

総額 1,657,000千円

(単位：千円)

補正前	補正	補正後	補正額の財源内訳	
			特定財源	一般財源
216,931,000	1,657,000	218,588,000	1,213,896	443,104

*歳入予算の主なもの

(単位：千円)

主 な 内 容

1 地方特例交付金	353,191	地方特例交付金 340,474 特別交付金 12,717
2 地方交付税	89,913	普通交付税 89,913
3 国庫支出金	848,962	国庫負担金 1,376,558 国庫補助金 △537,596 国庫委託金 10,000
4 県支出金	154,411	県負担金 107,612 県補助金 46,799
5 繰入金	450,000	産業集積促進基金繰入金 450,000
6 市債	△ 237,900	民生債 △7,500 土木債 29,000 教育債 △259,400

*歳出予算の主なもの

(単位：千円)

1 障害児者介護給付費等	410,000	障害福祉サービス提供者の報酬改定等に伴い支給額が当初見込みを上回るため
2 重度障害者医療費助成	95,000	受給者の増加等により支給額が当初見込みを上回るため
3 児童手当・特例給付	74,600	受給者の増加により支給額が当初見込みを上回るため
4 子育て応援特別手当支給事業	△ 722,000	国予算の執行が凍結されたため、支給費及び事務費の全額を減額するもの
5 生活保護費	1,512,000	経済状況の悪化に伴う受給者の著しい伸びにより支給額が当初見込みを上回るため
6 個別予防接種事業	121,000	日本脳炎の新ワクチンの接種が開始されたことや高齢者インフルエンザ予防接種の接種率の上昇が見込まれるため
7 企業誘致等推進事業	528,400	STEP50の認定企業に交付する施設整備等奨励金に不足を生じるため
8 中小企業景気対策事業	268,000	市内中小企業の資金需要に対処するため、景気対策特別融資に係る利子補給金及び信用保証料補助金を増額する
9 当麻地区整備促進事業	60,900	土地区画整理事業のための道路詳細設計、環境の実態調査業務委託等を実施する
10 電子黒板活用教育推進事業	10,000	電子黒板を活用した国の調査研究委託事業を実施する

*継続費の補正

(単位：千円)

- 1 南清掃工場建設事業（平成18年度～21年度）

総額 19,500,000千円 → 19,239,300千円

事業費の確定に伴う総事業費、年割額の変更

- 2 総合体育館改修事業（平成20年度～21年度）

総額 2,408,000千円 → 2,264,000千円

事業費の確定に伴う総事業費、年割額、財源の変更

＊繰越明許費の設定

(単位：千円)

- 1 当麻地区整備促進事業 49,000

環境の実態調査業務委託について、年度内での完了が見込めないため

＊債務負担行為の設定

- 1 南障害者地域活動支援センター指定管理経費
 限度額 68,400千円
 期 間 平成21年度から平成24年度まで
- 2 市営住宅指定管理経費（平成21年度設定分）
 限度額 20,180千円
 期 間 平成21年度から平成25年度まで

指定管理者の指定に伴い、施設の管理業務について、指定期間終了までの債務負担行為を設定するもの

指定管理者の指定に伴い、施設の管理業務について、指定期間終了までの債務負担行為を設定するもの

□国民健康保険事業特別会計（直営診療勘定）

総額

3,000千円

＊歳出予算

(単位：千円)

- 1 医療用消耗器材費 1,000
- 2 医薬品衛生材料費 2,000

新型インフルエンザの診療のための消耗品として検査キット・マスクを購入する

新型インフルエンザの診療のための医薬品としてタミフル・リレンザを購入する

□下水道事業特別会計（下水道勘定）

総額

△103,900千円

＊歳出予算

(単位：千円)

- 1 管きよ建設費 △103,900

鳥屋太井汚水幹線整備補助事業（継続費・20年度設定分）の本年度支出額の減額

＊継続費の補正

(単位：千円)

- 1 鳥屋太井汚水幹線整備補助事業（平成20年度～21年度 →平成20年度～22年度）

総 額 550,800千円 →624,100千円

想定を超える硬質な岩盤が出現したため、工法及び工期を変更するもの

□介護保険事業特別会計

総額

71,800千円

＊歳出予算

(単位：千円)

- 1 償還金及び還付加算金 71,800

平成20年度に収入した国庫支出金及び県支出金の返納に要する経費